

# 会計学

## Accounting

商学大学院提供副専攻

### 設置概要

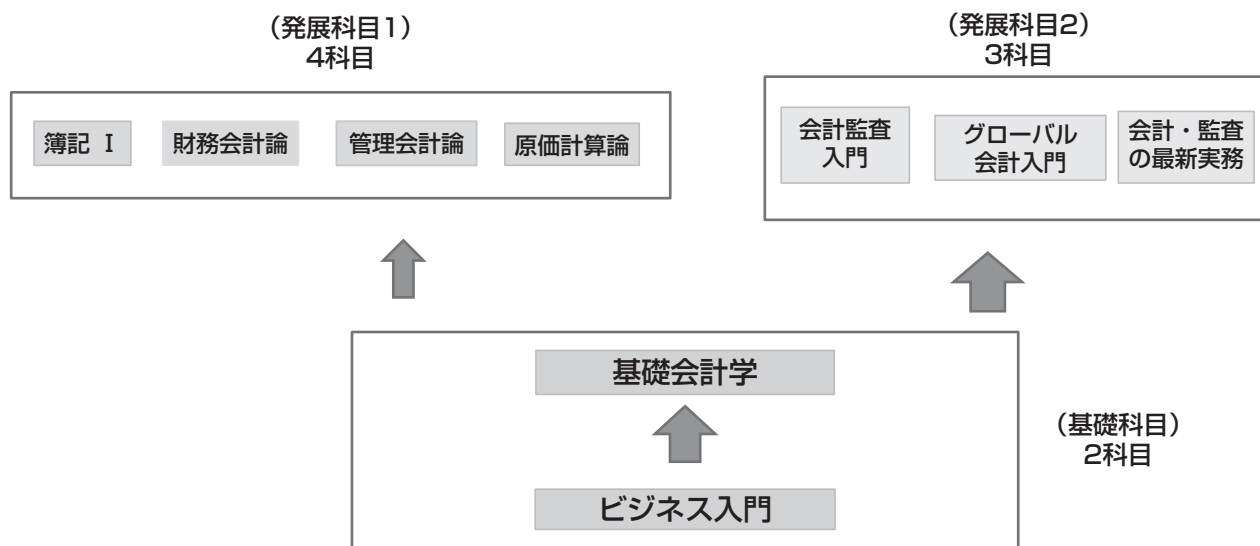
会計は、しばしば「ビジネスの言語」といわれる。これは、会計が企業と外部世界、すなわち利害関係者（株主、債権者、徴税当局など）とを繋げる必須の情報であり、また企業経営の場面においても経済活動の実態を理解するうえで欠かせない知識を提供するからに他ならない。いうまでもなく、本学の学生の多くは卒業後企業に就職する。このことを考えれば、自らの専門分野とは別に、会計に関する基本的なものの見方・考え方を身につけ、複眼的な視点を養うことが社会的にも要請されるであろうし、商学部はこれを支援できる環境を提供することができる学部であるといえる。事実、商学部はこれまで、政治経済学部および法学部との合併科目として「基礎会計学」を設置してきたが、両学部においては公認会計士試験を意識した優秀な学生が多数存在する。今後、学術的副専攻という形でさらに体制を拡大・発展させることにより、そうした学生のニーズに幅広く応えられる環境を整備することができる。さらに、商学部にあっては会計研究科との連携も可能であることから、発展科目2により実践的な内容を有する科目も加えている。

### 到達点（学習成果）

副専攻「会計学」の修了要件を充たした学生は、社会における会計の役割とその貢献に関する体系的な理解が得られるとともに、簿記に限らずこれを活用するための基本および実践的な技術に関しても相応の学習効果が見込まれる。具体的には、その想定される学習効果は、商学部内の会計トラックに所属する学生と比べても決して見劣りしないレベルとなることを想定している。正直なところ、公認会計士試験を受験するために必要とされる高度な知識の習得を期待できるレベルには及ばないものの、当該試験の受験に対する動機付けおよび今後の進路決定には大いに役立つものとなるにちがいない。この点に関しては、中小企業診断士や税理士試験に関しても同様である。

### カリキュラムマップ

- ・基礎科目として「ビジネス入門 1」と「基礎会計学 10」を置き、副専攻の必修科目とする。
- ・「ビジネス入門 1」を履修し A 評価以上を修得した者は、全学副専攻の対象科目として「基礎会計学 10」の科目登録を可能とする。
- ・「基礎会計学 10」を履修し A 評価以上を修得した者は、全学副専攻の対象科目として「発展科目 1」および「発展科目 2」の科目登録を可能とする。



履全  
修学  
ガ副  
イ専  
ド攻

### 履修を希望する学生へのメッセージ

会計について深く知ることは、経済社会の動きをリアルタイムで把握し、的確な行動を選択することにつながる。会計は俗に「ビジネスの言語」と称されるが、同時に世界共通のグローバルな言語でもあることを知ってもらいたい。すなわち、世界経済を動かす人々は異なる言語を用いていても、彼らの行動やビジネスの在り方を律するルールは共通している。会計はまさにそうしたルールを代表する存在といえるであろう。社会の中には会計という仕組みがあり、これを通じて生み出された情報によって世界は動いているのである。外国語を学ぶことだけが世界につながる道では決していない。世界経済を動かしている共通な枠組みを学習し、これを理解することによってこそ、世界で活躍できるグローバルな人材が育つと考える。

# 指定科目一覧

## 修了必要単位

16単位（基礎科目：6単位 発展科目1：8単位 発展科目2：2単位）以上

## 注意事項

商学部生は「会計学」副専攻を修了できません

### ★基礎科目

修了必要単位：6単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日・時間	キャンパス	単位	履修	備考
1	商学	ビジネス入門 1	エドマン ジェス バーカール ヨーラン 他	1年以上	春学期	木5時限	早稲田	2		履修必須
2	商学	基礎会計学 10	伊藤 嘉博	1年以上	秋学期	火2時限 金2時限	早稲田	4		履修必須 ※1 履修条件あり

### ★発展科目1

修了必要単位：8単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日・時間	キャンパス	単位	履修	備考
1	商学	簿記1 1	奥村 雅史	1年以上	春学期	月2時限 木2時限	早稲田	4		※2 履修条件あり
2	商学	簿記1 2	奥西 康宏	1年以上	秋学期	月4時限 木4時限	早稲田	4		※2 履修条件あり
3	商学	簿記1 3	齋藤 正章	1年以上	秋学期	月2時限 木2時限	早稲田	4		※2 履修条件あり
4	商学	簿記1 4	金子 良太	1年以上	春学期	月1時限 木1時限	早稲田	4		※2 履修条件あり
5	商学	財務会計論 1	山内 暁	2年以上	春学期	火4時限 金4時限	早稲田	4		※2 履修条件あり
6	商学	財務会計論 2		2年以上			早稲田	4		※2 履修条件あり 2019年度休講
7	商学	財務会計論 3	八重倉 孝	2年以上	秋学期	火1時限 金1時限	早稲田	4		※2 履修条件あり
8	商学	管理会計論 1	伊藤 嘉博	2年以上	春学期	火3時限 金3時限	早稲田	4		※2 履修条件あり
9	商学	原価計算論 1	長谷川 恵一	2年以上	春学期	火2時限 金2時限	早稲田	4		※2 履修条件あり
10	商学	原価計算論 2		2年以上			早稲田	4		※2 履修条件あり 2019年度休講
11	商学	原価計算論 3	長谷川 恵一	2年以上	秋学期	火2時限 金2時限	早稲田	4		※2 履修条件あり

### ★発展科目2

修了必要単位：2単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日・時間	キャンパス	単位	履修	備考
1	商学	グローバル会計入門 1	秋葉 賢一 他	3年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2		※2 履修条件あり
2	商学	会計・監査の最新実務 1	秋葉 賢一 他	3年以上	春学期	水5時限	早稲田	2		※2 履修条件あり
3	GEC	会計監査入門	金子 裕子	1年以上	秋学期	火1時限	早稲田	2		※3 認定条件あり

## 「会計学」副専攻の修了要件とするための科目登録における注意事項

「会計学」副専攻の修了要件として科目を履修する場合には、以下の条件および方法で科目登録を行う必要がありますので、注意してください。（通常のWeb登録のみでは認定されない場合があります。）

#### ※1 履修条件あり

「基礎会計学 10」の履修には特別な条件がありますので、科目登録の際には十分注意してください。

【条件】 「ビジネス入門 1」でA評価以上を修得していること。

【科目登録方法】 各所属学部の一次登録期間中に、Web科目登録を行い、かつ上記の履修条件を満たしたことが確認できる成績証明書を商学部事務所に提出してください。

#### ※2 履修条件あり

以下の科目の履修には特別な条件がありますので、科目登録の際には十分注意してください。

【対象科目】 「発展科目1」のすべての科目、「発展科目2」の「グローバル会計入門 1」「会計・監査の最新実務 1」

【条件】 「基礎会計学 10」でA評価以上を修得していること。

【科目登録方法】 各所属学部の一次登録期間中に、Web科目登録を行い、かつ上記の履修条件を満たしたことが確認できる成績証明書を商学部事務所に提出してください。

#### ※3 認定条件あり

「会計監査入門」を本副専攻指定科目として認定するには、以下の条件がありますので、注意してください。

【条件】 「基礎会計学 10」でA評価以上を修得していること。

当科目は履修登録上の条件はありませんが、「基礎会計学 10」がB評価以下の場合、本副専攻の指定科目として認定されません。

#### 【注意】

一度単位を修得した科目は、再度履修することができません。

したがって、「ビジネス入門 1」あるいは「基礎会計学 10」をBまたはC評価で単位修得した場合、本副専攻を修了することができなくなりますので、十分に注意してください。

履全  
修学  
ガ副  
イ専  
ド攻